

地域の皆さんを見守っています！

東白石安心安全。パトロール隊

東白石地区では、住民による夜間の防犯パトロールが25年ほど前に始まり、空き巣狙いなどの犯罪の減少に一役買っています。

4月から11月までの第1・第3金曜には、そろいのジャンパーに身を包んだ隊員が、地域をパトロール。第2・第4金曜には、青色回転灯を付けたパトロール車が出動しています。

当初40人ほどだった隊員は年々増え、今では146人に。交替で参加できる気軽さから、地域活動デビューのきっかけにもなっています。



東白石まちづくり実践会常任委員長
ふじわら えいまく
藤原 英朔さん

平成18年5月15日に、防犯パトロール隊として正式に白石警察署の認定を受けました。隊員は20歳代から70歳代まで幅広い年齢。中には留学生もいますんですよ。



◀2年かけてそろえたジャンパー

北東白石地区チャリパト隊・わんわんパト隊

北東白石まちづくり協議会では、安心・安全なまちをつくろうと「チャリパト隊」と「わんわんパト隊」の活動を進めています。

自転車での移動や犬の散歩の際、腕章を付けて地域を見守るもので、定期的な活動が難しい人でも自分のペースで取り組めるのが特徴です。

北東白石地区にお住まいの方ならどなたでも参加できます。希望の方は、北東白石まちづくりセンター（北郷3条12丁目 ☎(875)3077）にご連絡ください。腕章をお渡しします。

毎朝4時30分から犬の散歩がてらパトロールをしています。犬は物音などに敏感。犬にほえられたり、じっと見られたりすることで、不審な人物や車が立ち去ることもあります。



おかざわ さだあき
岡澤 貞明さん

愛犬「ヘイタ」▶



今日から取り組める！

一門一灯運動

門灯をつけておくことで、ひったくりやわいせつなど夜間の犯罪に抑止効果があると言われています。

一声掛け運動

近所に住む人や子どもたちと積極的に声を掛け合うことでコミュニケーションが深まり、犯罪をたくらむ人が入りにくい地域になります。



環境美化活動

花を植えたり、落書きや違法なビラ、ごみなどを取り除いたりすることで、心理的に小さな犯罪も起こしにくい環境をつくれます。

危険を感じたらここへ

子ども110番の家

子どもが何らかの被害に遭ったときや助けを求めてきたときに、子どもを保護し、警察などに連絡するボランティアです。



◀表示の例

コンビニエンスストアセーフティステーション

緊急時の110番・119番通報をはじめ、女性・子どもの駆け込みへの対応や高齢者の保護など、地域の安全拠点としての活動をするコンビニエンスストアが多数あります。



◀ポスターが目印

北海道警察からのお知らせ

防犯のための情報を配信「ほくとくん防犯メール」

不審者の出没や犯罪の発生、地域の安全などに関する情報のメールをパソコンや携帯電話で受け取ることができます。

登録ページへのアクセスは、下記アドレスか右のQRコードから！

<http://www.mmg.police.pref.hokkaido.lg.jp/>



【詳細】北海道警察本部生活安全企画課犯罪抑止環境対策係

☎251-0110内線3038

【お知らせ】9月号の「しろいしクイズ！」の正解は「①七つ星」でした。



北海道警察のSNS「ほくとくん」

